

学生担当者報

2
Vol.371

発行／天理教学生担当委員会 発行責任者／松村孝吉 編集責任者／福江弘一
 [TEL] 0743-63-1511 (内線 5817) (直通) 0743-63-2489 [FAX] 0743-62-5780
 [E-Mail] tsa@tenrikyo.or.jp [TSA website] http://tsa.tenrikyo.or.jp



立教181年
平成30年1月25日発行

“人生が変わる学修大学の部”へ

学生生徒修養会部 委員
中西 はつよ

今、各直属教会では「教会長子弟育成プロジェクト」に取り組み、親里ぢばでは「後継者講習会」が開催される最中にあります。そんな人材育成への熱が渦巻く最高に整った条件の中、「学生生徒修養会大学の部」が、今年も「感じよう！ 表そう！ 陽気ぐらし」のテーマのもとに開催されます。

昨年の「学修大学の部」閉講式において、表統領中田善亮先生より「学修はおぢばの理によつて成り立つておる」とお聞かせいただきました。仰せ下さる通り、「学修」はおぢばへお引き寄せいたいたい学生と、それを支える世話を取りや運営にたる大勢のスタッフが共に教理に触れ、語り合い、励まし合いながら、育てる側も育つ側も、教祖の御心に包ま

れながら、ここおぢばで一週間という時を過ごします。まさしくその懷の中だからこそ、日頃当たり前のようにはうる数々の親神様のご守護に気づき、テーマの如く、その喜びを日々の生活の中で言葉や態度に素直に表わすことが出来るのだと思います。

私は学生担当委員会のご用に携わり、初めて“学修”という現場を経験しました。そこには、おぢばの理を戴き、おぢばにつながるからこそ、普段一人では出来ないことも仲間と一緒にだから出来たり、どんな小さなことを実行する中に、陽気ぐらしの味わいを知る世界があるんだなど、変わりゆく学生たちの姿や様々なる守護を身を持つて感じさせていただきました。

「学修大学の部」の学生の多くは、この度の後継者講習会受講対象者に当たりますが、その年齢枠から外れ

学生担当者報

【教区】	日程・会場案内
・大分	2月3日 10時～ 教務支庁
・香川	2月11日 9時～ 教務支庁
・和歌山	2月27日 9時30分～ 教務支庁
・松阪	2月20日 12時～ 大教会
・栗太	2月20日 12時15分～ 分教会
・笠岡	2月21日 12時～ 大教会
・双名島	2月22日 9時30分～ 大教会
・越乃國	2月23日 12時～ 大教会
・中和	2月24日 11時30分～ 大教会
・鐸姫	2月24日 12時～ 大教会
・明城	2月24日 12時～ 大教会

【直属】	業務記録
・加藤 豪（細川）	《立教180年12月25日付》
・三宅善和（玉島・窪谷）	《立教180年12月25日付》
・栗太	12月19日 事務局連絡会
・笠岡	21日 『Happist』納品
・双名島	22日 『Happist』発送
・越乃國	春の学生おぢばがえり
・中和	25日 決起の集い（～24日）
・鐸姫	例会

【教区】	人事
・大分	【直属学生担当委員長辞令交付】
・香川	【直属学生担当委員長辞令交付】
・和歌山	担当者活動部部会
・松阪	出版部部会
・栗太	要員育成室会議
・笠岡	人材育成部部会
・双名島	学修高校の部研究室会議
・越乃國	ビデオチーム会議
・中和	学修高校卒業生コース
・鐸姫	研究室会議
・明城	9日 学修大学の部研究室会議 10日 学修高校卒業生コース 11日 まなびばチーム会議 12日 春の学生おぢばがえり 13日 春の学生おぢばがえり 14日 プロジェクトチーム会議 15日 春の学生おぢばがえり 16日 まなびばチーム会議 17日 春の学生おぢばがえり 18日 学修高校卒業生コース 19日 学修高校卒業生コース 20日 学修高校卒業生コース 21日 春の学生おぢばがえり 22日 春の学生おぢばがえり 23日 春の学生おぢばがえり 24日 春の学生おぢばがえり 25日 春の学生おぢばがえり

お知らせ

報告

十二月例会

去る12月25日、教序4階講堂に於いて「十

二月例会」を開催。出席は41教区、120直属。

・東神田	2月24日 13時～ 大教会	広報室会議
・生野	2月25日 13時30分～ 詰所	まなびば部員・本部スタッフ
・大分	5日 学修部部会	出版部会
・香川	8日 委員会	事前研修会
・和歌山	1月4日 おせち学生ひのきしん隊	(～7日)
・松阪	5日 学修部部会	広報室会議
・栗太	8日 委員会	事前研修会
・笠岡	1月4日 おせち学生ひのきしん隊	(～7日)
・双名島	5日 学修部部会	広報室会議
・越乃國	8日 委員会	事前研修会
・中和	1月4日 おせち学生ひのきしん隊	(～7日)
・鐸姫	5日 学修部部会	広報室会議
・明城	8日 委員会	事前研修会

学生担当者報

学生担当者報

立教181年1月25日

立教百八十一年

おせち学生ひのきしん隊 開催報告

新春の親里で開かれた「お節会」に際し、本年も「おせち学生ひのきしん隊」を結成し、「喜びあふれる笑顔と明るい声のさわやかなおもてなし」を合言葉にひのきしん隊として励みました。今回のおせち学生ひのきしん隊には全国各地から三百三十三名（高校生百四十一名、大学生百九十二名）の学生が参加し、一月四日から七日まで第三十八母屋にて合宿生活を送りました。

「お節会」では第三、第五会場において、主に給仕や誘導、食器洗いのひのきしんを行いました。一人でも多くの方に喜んでいただけるよう精一杯のおもてなしを心がけ、ひのきしんを通し学生も多く喜びを分かち合うことができました。また期間中には五十四名（初席三名、中席五十一名）の高校生が別席を運ばせていただきました。学生たちは様々な持ち場での自主的な取

り組みと人との交流を通して、信仰の喜びを味わい、感謝の心でおちばに伏せ込ませていただき、思いやりの溢れる有意義な四日間を過ごしました。

おちばでひのきしんが出来るなんて、こんなにありがたいことはないと改めて感じました。喜んでひのきしんさせてもらえたことを、ありがとうございます。

（大学生 男子）

◆参加者の声

たくさん的人にたくさんの「ありがとう」を言つてもらつたり、笑顔を見ることができました。普段経験できないことを経験できて良かつた。

（高校生 女子）

初めての参加でとても不安でしたが、班のメンバーの優しさに触れて、最後まで参加することができました。班のメンバーの笑顔が大好きです。（高校生 女子）



立教百八十一年 春の学生おぢばがえり 決起の集い 開催報告

昨年十二月二十二日から二十四日にかけて、本部第十二母屋を会場に「立教百八十一年 春の学生おぢばがえり決起の集い」を開催し、二十五教区より五十七名、二十

二直属教会より三十六名、学生スタッフ四十四名、合計百三十七名が参加しました。この行事は、教区、直属の学生のリーダーが春の学生おぢばがえり（以下、春学）六千名の動員目標達成に向けて、一人でも多くの仲間に声をかけ、おぢばにお誘いすることが自分達のおたすけであり、そこに信仰の喜びを持って勇んで取り組んでいくことを目的として開催しました。

プログラムでは、昨年の春学の式典での真柱様のお言葉より、自らの日々の信仰姿勢と学生会活動を振り返り、改めて学生に望まれる真柱様の思いを見つめ直し、今一

度お道の学生会員として立教百八十一年の春学開催に向けて心を一つに揃えさせていたきました。その上で、「おぢばに帰ることのありがたさ」と題して本部准員吉川万寿彦先生より、ご自身の体験談も含めておぢばの大切さ、また人をお誘いする尊さを非常に分かりやすく心弾むようなお話を頂戴し、参加した学生一同に勇気を与えてくださいました。

また期間中には、練り合いの場や質疑応答の場も設けて、春学についてそれぞれの持ち場立場からの疑問や動員についての悩みなど問題を解決していくための話し合いも真剣な様子で行われ、声掛けが自分達のつとめでありおたすけである意識をより一層高めありました。

そして、プログラムの締めくくりには、



動員目標六千名の達成に向けて教区・直属の学生が一手一つに実動することを誓い合い、南門前でよろづよ八首でをどりまなびを声高らかに勇み心いっぱいにとめさせていただき解散しました。

立教181年 学生生徒修養会 大学の部

募集要項

- ▽ 期間 …… 平成30年3月3日(土)～3月9日(金)
- ▽ 受講対象 …… ①平成30年1月8日現在、大学・短期大学・大学院・専門学校
高等専門学校(4年生以上)に在学している者。
②全期間を通して受講できる者。
- ▽ 募集人員 …… 700名(男子350名、女子350名)
- ▽ 内容 …… 講義、グループワーク、にをいがけ、ひのきしん、修練(おつとめ勉強)など。
期間中に別席を1席運べる日を設けます。
- ▽ 集合 …… 3月3日 正午～12時30分に指定された宿舎に集合してください。
- ▽ 解散 …… 3月9日 午前10時頃、各宿舎にて
- ▽ 受講料 …… 8,000円 詰所(直属学生担当委員会)に納めてください。

申し込み

- ▽ 申込方法 …… 下記の書類をととのえ、最上級教長の署名・捺印をいただいた後、
学生担当委員会事務局に申し込んでください。
 - ・受講願書1通 ※特に学年の記入間違いのないようお願いいたします。
 - ・返信用封筒1枚(郵便番号、住所、氏名を記入し、82円切手を貼付してください)
- ▽ 申込期間 …… 平成30年1月8日～2月25日
(事務処理の関係上、願書はなるべく2月15日までに提出してください)
- ※ 受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて2月15日以降、随時本人に郵送いたします。
また、2月15日以降はTSA websiteでも詳細、必要事項が確認できますのでご利用ください。
- ※ 受講願書は学生担当委員会事務局、直属学生担当委員会、各教務支庁にあります。

立教181年 「教区・直属 育成に役立つ講習会」開催要項

日々は学生層育成の上にご丹精くださり誠にありがとうございます。
本講習会は、これまで「教区・直属HARP講習会」として開催していたものですが、幅広いニーズに応じることができるように、昨年から「教区・直属 育成に役立つ講習会」として名称及び内容を改めました。

参加者一人ひとりが人材育成の現場において即戦力となり、スタッフ間のチーム力を高めるためにも有効な講習会です。開催を希望されます教区、直属は下記の要項に沿ってお申し込みください。

記

- ◎ 内容 各教区、直属のニーズに合わせて相談の上、講習会のプログラムを作成します。
例) ・とにかくHARPを体験したい
・行事で使えるエクササイズやアイスブレイクをたくさん学びたい
・トレーナーができるスタッフを増やしたい
・学生層育成に関わるメンバーのチームワークを高めたいなど
- ◎ 講師派遣 委員1名、本部スタッフ若干名(受講者数により決定)が出向します。
※派遣にかかる交通費は本部学生担当委員会にて負担します。
- ◎ 開催要件 1泊2日かつ実質10時間以上の講義・実習時間が確保できることが望ましい。
開催日は本会行事(学生生徒修養会・春の学生おぢばがえりなど)に重ならないこと。
- ◎ 申し込み 開催2ヶ月前までに所定の用紙にてお申し込みください。

「まなびば」開催会場一覧 《2月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	連絡先
静岡	2月10日13時～11日15時	教務支庁	新村	
奈良	2月10日13時30分～11日15時	敷島詰所	梅本	

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

ハッピスト Happist Photo Gallery

行事中に「Happistカメラマン」が撮影した写真を販売しています!

内 容：おせち学生ひのきしん隊

頒布期間：平成30年1月25日～4月25日

購入方法：パソコンやスマートフォンで下記のURLにアクセスし、イベントIDとパスワード（各行事で異なります）を入力して閲覧・購入してください。イベントIDとパスワードの内容については、参加者の配付資料「Happist Photo Gallery」をご覧ください。学生担当委員会事務局（0743-63-2489）までお問い合わせください。なお、インターネットでの購入が困難な方は、学生担当委員会事務局の窓口にて対応いたします。

頒布価格：L版40円 2L版100円 ※別途送料が必要です。

U R L : <http://11kao.jp/>

おせち学生ひのきしん隊

Happist3月号 予告**[特集] もぐってみよう****連載**

・教理コーナー

お道の?と一緒に考えよう!【最終回】 田邊 大治 (此花大教会長)

・輝く生き方見つけよう

Key Person 中村 良二 (天理高校野球部監督)

・信仰エッセイ

明日の地図ひろげて 田中 有理 (中河大教会長夫人)

・人生を彩る1冊をあなたに。

虹色のしおり【最終回】 上田 和子 (浪華分教会教人)

・漫画

ココロtravel ニシカワ ヨウコ

個人宅に直接Happistが届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

Happist

※内容は一部変更になる場合があります。

当時振り返ると、学生が集まらない中を学生会員長の子が一人二人と仲間を増やしていく、数人のスタッフとなり、参加者が少ないな、数人が少ないのを嘆くのではなく、先の大人数を楽しみにしている若い子達の姿勢に頼もしさを感じさせてもらっていました。

私自身、学生会活動の経験もなく、三十半ばの若輩者で、学生を導くには力不足が否めない中、学生に育ててもらいたいながら学生担当委員を務めさせていただいたなと思います。これらの学生達、若い世代の信仰の先にあるこの道の明るさを楽しみにしていきたいと思います。

山梨教区学生担当委員会前委員長
興津真治郎**先生! 、、、〈Happist〉好きになってもいいですか?****2月は「Happist新規購読推進月間」です。****中学3年生(4月より高校1年生)へ購読の呼び掛けを!**

学生担当委員会では「教長・布教所長家族及び住込人名簿」(表統領室調査情報課)に基づき、中学3年生を対象に〈Happist〉2月号を贈呈し、4月からの購読を呼び掛けます。

2月号は、今回特別にカラーグラビア「TSA PERFECT GUIDE」を綴じ、おぢばや全国各地で開催される行事を紹介します。ぜひ、新高校1年生の手元に〈Happist〉を届けていただき、信心を持った「道の学生」として学校生活を送ってもらえるよう、お力添えをお願いいたします。

〈Happist〉は教会と学生をつなぐ必須アイテム!

- ・おぢばの声、旬の動きが手に取るようにわかる〈Happist〉
- ・道の学生という意識を高める〈Happist〉
- ・各会の行事へ、教会へ、おぢばへと誘う〈Happist〉

新規購読推進月間をきっかけに学生への積極的な呼び掛けと、お力添えの程をよろしくお願ひいたします。

〈Happist〉のおかげで友人が天理教に興味を持ってくれるようになりました。来年は私の直属教会から一緒に春学に行こうと言ってくれています。(299号より)

僕は中学3年生です。教会の会長さんや高校生から学修の話を聞いていましたが、いまひとつ関心を持てずにいました。でも、今回学修の特集を見て、とても楽しそうだと思いました。早く高校生になって学修に参加したいです。(316号より)

